

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018 年 32 週 (8 月 2 週 8/6~8/12)

2018 年 7 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、エボラ出血熱に係る注意喚起、夏休みにおける海外での感染症予防、A型肝炎

◇定点医療機関コメント

ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌感染症、手足口病、マイコプラズマ感染症、咽頭結膜熱等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(21)、腸管出血性大腸菌感染症(12)、A型肝炎(2)、レジオネラ症(5)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、急性脳炎(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(4)、播種性クリプトコックス症(1)、百日咳(12)、風しん(1)

◇2018 年 7 月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆RSウイルス感染症 (図1)

32 週の定点当たり報告数は 1.13、31 週 211 人→32 週 206 人(うち 0 歳 72 人、1 歳 91 人)で、2 歳未満の報告数が全体の 79.1%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

◆手足口病

32 週の定点当たり報告数は 0.53、31 週 165 人→32 週 96 人(0.58 倍)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況 (速報)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

◆ヘルパンギーナ (図2)

32 週の定点当たり報告数は 2.45、31 週 627 人→32 週 445 人(0.71 倍)です。

【参考ページ】豊橋市: ヘルパンギーナが流行しています

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/60540.htm>

◆エボラ出血熱に係る注意喚起について

【参考ページ】コンゴ民主共和国北キブ州におけるエボラウイルス病と推定される疾患の集団発生 (FORTH)

<https://www.forth.go.jp/topics/20180803.html>

◆夏休みにおける海外での感染症予防について

【参考ページ】夏休みにおける海外での感染症予防について (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

◆A型肝炎(表)

2018 年 32 週までの累積報告数(診断週集計、8 月 15 日現在)は 20 件 (男 19 件、女 1 件)です。感染経路については、男では性的接触が 19 件のうち 13 件 (68.4%)を占めています。2017 年の累積報告数は 17 件です。

【参考ページ】2012 年第 1 週から 2018 年第 24 週までの感染症発生動向調査における A 型肝炎の報告状況 (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/1558-disease-based/a/hepatitis/hepatitis-a/idsc/idwr-sokuhou/8185-hepa-180622.html>

表 A型肝炎の男女別感染経路別報告数(愛知県、※2018年は8月15日現在)

性別	感染経路	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年※
男	経口感染	4	8	4	4	1	5	2	3	7	4
	性的接触	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	その他・不明	0	1	0	0	2	0	0	0	3	2
計		4	9	4	4	3	5	2	3	12	19
女	経口感染	1	3	0	3	0	3	5	2	4	1
	性的接触	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他・不明	0	1	0	0	1	0	3	0	1	0
計		1	4	0	3	1	3	8	2	5	1
総計		5	13	4	7	4	8	10	5	17	20

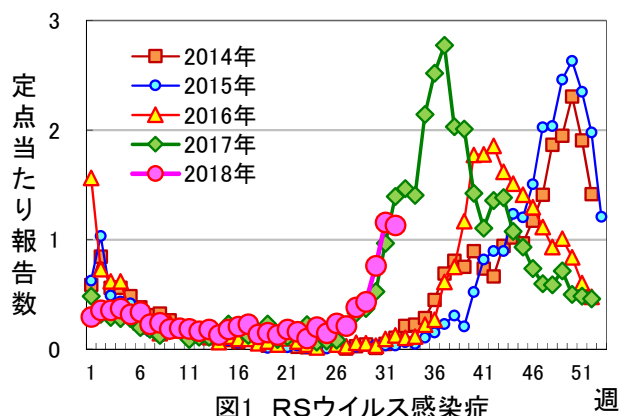


図1 RSウイルス感染症

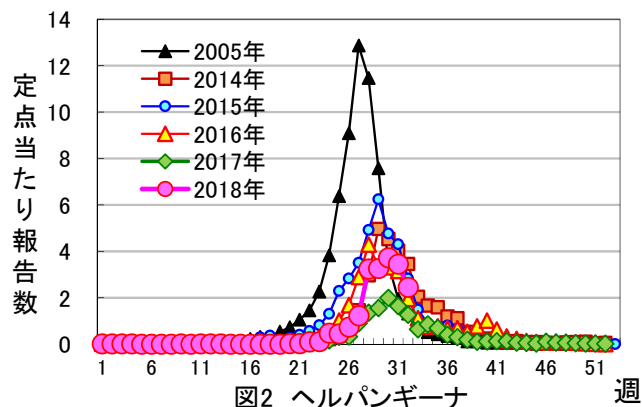


図2 ヘルパンギーナ

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 伝染性紅斑、ヘルパンギーナあり
【一宮市 後藤小児科医院】
- RSV 感染症流行中
ヘルパンギーナも流行中
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- ヘルパンギーナ 11 名、溶連菌 6 名 いずれも半減しました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 46 歳男 マイコプラズマ感染症
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- ヘルパンギーナ流行続いています。
その他、目立った感染症なし
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- ヘルパンギーナ 2 名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告なし
RSV は多いままです。
手足口病、ヘルパンギーナなどの夏風邪多いです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 今回は夏季休診の関係で診療日数が3日であったため、少なくなっております。
【春日井市 かがわこどもクリニック】
- 溶連菌、ヘルパンギーナ多数
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 溶連菌感染症 2 名いました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- RS ウイルス感染症 2 名(ともに1歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

- StrepA(+) 5 歳男
RSV(+) 1 歳女
E. coli(O128)VT1(-)VT2(-)+カンピロバクター 9 歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症、ヘルパンギーナいます。
【碧南市 永井小児クリニック】
- カンピロバクター 13 歳男
【幸田町 とみた小児科】
- 特に主な流行ないです。
下痢の子は多いです。
【岡崎市 花田こどもクリニック】

東三河地区

- カンピロバクター 1 名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年8月15日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki/jun180501.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年32週報告数			2018年総計(1～32週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	6	1	1	351	81	90
豊田市				44	7	11
豊橋市	1	1		53	5	30
岡崎市	1			31	8	8
一宮				73	21	22
瀬戸	1		1	59	13	19
半田				37	12	14
春日井	2		1	58	7	19
豊川	1	1		20	6	7
津島	3	1	2	59	10	9
西尾				17	1	2
江南	2		1	26	4	4
新城				3		2
知多				31	12	4
清須	1	1		17	5	5
衣浦東部	3			44	6	15
合計	21	5	6	923	198	261

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	31歳	女	7/29	8/2	8/6	O157、VT1(+)
2	名古屋市	18歳	男	7/30	8/2	8/6	O157、VT1(+)
3	名古屋市	44歳	女	-/-	8/9	8/9	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
4	名古屋市	16歳	女	7/30	8/9	8/9	O157、VT1(+) VT2(+)
5	名古屋市	9歳	男	7/30	8/9	8/9	O157、VT1(+) VT2(+)
6	名古屋市	55歳	男	7/31	8/3	8/7	O26、VT1(+)
7	名古屋市	45歳	男	-/-	8/6	8/9	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
8	名古屋市	13歳	女	-/-	8/6	8/9	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
9	名古屋市	68歳	男	-/-	8/2	8/9	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
10	一宮	18歳	女	7/31	8/2	8/6	O157、VT2(+)
11	一宮	14歳	女	8/2	8/3	8/7	O157、VT2(+)
12	一宮	18歳	女	8/1	8/3	8/7	O157、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **A型肝炎（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	39歳	男	無	国内
2	名古屋市	39歳	男	無	国内

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	96歳	男	肺炎型	国内
2	豊橋市	66歳	男	肺炎型	国内
3	一宮	70歳	男	肺炎型	不明
4	一宮	81歳	男	肺炎型	国内
5	春日井	72歳	男	肺炎型	国内

● **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	83歳	男	不明	国内	無
2	衣浦東部	49歳	女	以前からの保菌	国内	無

● **急性脳炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	0歳	女	病原体不明	国内
2	瀬戸	0歳	男	パレコウイルス	国内

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	91歳	女	国内
2	春日井	48歳	男	国内

● **後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	34歳	男	AIDS	不明	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	48歳	男	不明	国内
2	豊田市	51歳	男	不明	不明
3	豊橋市	59歳	女	不明	不明

● **水痘（入院例に限る。）（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	一宮	54歳	男	不明	国内

● **梅毒（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	46歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	28歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	41歳	男	無症候	性的接触	国内
4	衣浦東部	37歳	女	早期顕症	性的接触	国内

● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染原因・感染経路	感染地域
1	衣浦東部	70歳	男	免疫不全	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	61歳	男	無	不明
2	名古屋市	11歳	男	不明	国内
3	名古屋市	43歳	男	不明	国内
4	豊橋市	6歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
5	一宮	8歳	女	有（追加接種有）	国内
6	一宮	44歳	男	不明	流行有（その他）
7	瀬戸	14歳	女	有（3回）	国内
8	瀬戸	13歳	男	不明	家族内感染
9	瀬戸	13歳	女	有（追加接種有）	国内
10	瀬戸	56歳	男	不明	国内
11	津島	14歳	女	有（追加接種有）	国内
12	知多	9歳	女	有（追加接種有）	国内

● 風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	衣浦東部	32歳	男	無	国内

2018年7月報

(2018年8月14日現在、診断週に基づく集計)

7月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2018年7月			2018年 累計 ＜愛知県全体＞	2017年 総計 ＜愛知県全体＞
		愛知県 (名古屋市区除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	76 (17)	41 (8)	117 (25)	883 (250)	1,533 (433)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	7 (1)	2 (0)	9 (1)	46 (16)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (44)	E型肝炎	1	0	1	5	6
	A型肝炎	1	5	6	17	17
	エキノコックス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	1	4
	デング熱	1	0	1	9	23
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	1	1
	類鼻疽	1	0	1	1	0
	レジオネラ症	18	10	28	87	102
五類 (24)	アメーバ赤痢	1	5	6	31	57
	ウイルス性肝炎	2	0	2	3	10
	内訳 B型	1	0	1	2	9
	内訳 その他	1	0	1	1	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	5	2	7	70	117
	急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)	1	0	1	1	-
	急性脳炎	0	2	2	21	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	2	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	3	28	37
	後天性免疫不全症候群	2	5	7	61	72
	内訳 無症候性キャリア	1	5	6	43	40
	内訳 AIDS	1	0	1	16	29
	内訳 その他	0	0	0	2	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	19	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	2	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	0	6	130	208
	水痘(入院例に限る。)	1	0	1	16	20
	梅毒	16	15	31	258	344
	内訳 無症候	3	3	6	62	108
	内訳 早期顕症	12	12	24	188	225
	内訳 晩期顕症	1	0	1	8	10
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	1
	播種性クリプトコックス症	1	0	1	10	12
	破傷風	0	1	1	2	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0
	百日咳*	16	8	24	135	-
	風しん	0	1	1	3	3
	麻疹	0	0	0	26	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
	総 計	159	99	258	1,871	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2018年7月			2018年 累計	2017年 総計
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	29	47	76	486	909
		女	47	20	67	859	1,586
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	13	9	22	142	223
		女	23	12	35	349	536
	尖圭コンジローマ	男	8	17	25	121	211
		女	7	3	10	187	307
基 幹 定 点	淋菌感染症	男	12	32	44	283	462
		女	9	0	9	326	528
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		67	2	69	538	1,001
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		10	1	11	73	154
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	3

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年7月			2018年 累計	2017年 総計
	愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	3	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

愛知県感染症情報

2018年32週(2018年8月6日～2018年8月12日)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
	インフル エンザ	小児 科	眼科	S T D	基 幹	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (オ ウ ム 病 を 除 く 。) (病 原 体 が ロ タ ウ ィ ル ス で あ る も の に 限 る 。)	感 染 性 胃 腸 炎	イン フル エン ザ に よ る 入 院 患 者
愛知県 (保健所別)																								
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	15	5	206	36	130	358	34	96	13	57	445	15	0	32	0	1	2	0	1	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	1	112	29	89	259	20	76	6	36	361	9	0	31	0	1	1	0	0	0
名 古 屋 市	70	70	11	15	3	4	94	7	41	99	14	20	7	21	84	6		1			1		1	
瀬 戸	9	9	2	3	1		9	1	4	17	1	10		2	56									
津 島	7	7	2	2	1		2	3	8	41		7	1	5	18	1								
清 須	4	4	1	1			1	1	3			1		1	8			21						
一 宮	16	12	3	4	1		18	1	4	22	2	2	1		28	1		4			1			
春 日 井	9	9	2	3	1		17	2	21	20	4	6		1	10	2								
江 南	6	6	1	2			16	1	7	19	1	2		3	27									
半 田	6	6	1	2	1		3		3	32	2	9			3									
知 多	7	7	2	2			8	1	11	16		10	2	2	11									
岡 崎 市	11	7	2	4	1				3	9	4			3	7									
衣 浦 東 部	13	13	2	4	1	1	18	11	9	35		10	2	5	40			4						
西 尾	5	5	1	2	1		8	6	1	3		1		1	11									
豊 田 市	9	9	2	4	1		3		6	18	1	4		2	25	2								
豊 橋 市	12	8	2	4	1		4	1	2	25	2	5		5	62	1		2						
豊 川	9	8	1	2	1		5	1	7	2	3	8		6	53	1				1				
新 城	2	2			1							1			2	1								

2018年32週(2018年8月6日～2018年8月12日)

愛知県衛生研究所

[illegible]